

### 図書館からのお知らせ

#### 9月の休館日

中央図書館 毎週金曜日と17日

東部図書館エル、中央図書館増戸分室 毎週月曜日  
五日市仮設図書室 毎週金曜日と祝日

#### 中央図書館 (558-1108)

わらべうたのじかん

日時 9月23日 午前11時~11時20分

対象 0歳から3歳までの子どもとその保護者

ボランティア(おはなしタ・ン・ト)によるおはなし会

日時 9月25日 午後3時~3時30分

#### 東部図書館エル (550-5959)

ボランティア(絵本とおはなしの会)によるおはなし会

日時 9月22日 午前11時~11時30分

ひよこのおはなし会

日時 9月26日 午前11時~11時20分

対象 1歳から3歳までの子どもとその保護者

#### 五日市仮設図書室 (595-0236)

五日市仮設図書室を開設しています。

場所 五日市出張所1階西側会議室

時間 午前11時~午後4時

内容 図書資料の貸出、返却、予約受付、予約・回送資料の提供、新聞・雑誌などの閲覧  
五日市図書館休館中の新着資料も随時追加します。  
資料の複写、情報検索機の利用はできません。

#### 視覚障がいのある方へ

図書館では録音資料の作成、対面朗読などのサービスを行っています。図書館にお問い合わせください。

#### 《図書館ホームページアドレス》

<https://www.library.akiruno.tokyo.jp/index.asp>

#### 《携帯版アドレス》

<https://www.library.akiruno.tokyo.jp/i/ihome.html>

を入力するかQR

コードを読み取ってアクセスし

てください。



市民解説員が案内する市内探訪「秋の五日市歴史散策」五日市物語の舞台を訪ねて」

市民解説員が案内する市内探訪

具 筆記用具、歩きやすい服装・靴など  
申込み方法 9月25日(水)(必着)までに、はがき(1枚につき1人)に、郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号を記入し、送付してください。  
申込み・問合せ 中央公民館(〒197-0814 二宮683、559-1222)

#### 市民プール

問合せ 550-1711

最新情報を専用ホームページ(<http://www.tamas-pool.com/akiruno/>)でご案内しています。

日時 9月18日・25日の水曜日 正午~午後0時50分  
内容 楽しく体を動かして体脂肪を燃焼させ、体力維持・健康増進効果のある水中運動の仕方をアドバイスします。  
対象 18歳以上の方  
費用 施設使用料のみ  
参加方法 直接プールサイドにお越しください。



期日 9月28日(土)~10月1日(火)  
内容 プール換水清掃のため休館になります。  
エンジョイ!水中運動

#### 五日市ファインプラザ

問合せ 596-5611

最新情報を専用ホームページ(<http://www.tamas-pool.com/itsukaichi/>)でご案内しています。

#### プール開放中止のお知らせ

期日 10月3日(木)開館時~5日(土)正午

場所 プール

内容 プール換水清掃のため開放を中止します。

#### 教室参加者募集!

楽しくZUMBA PARTY

日時: 10月3日~12月19日の毎週木曜日(全12回) 午後1時~1時50分  
場所: 第3研修室  
内容: ラテンのリズムでダンスフィットネス!楽しみながら脂肪燃焼を助成する教室です。  
対象: 18歳以上の方  
定員: 30人  
費用: 6千円

#### 五日市総合型地域スポーツクラブ「五日市クラブ」

ワンコイン新プログラム「レディースサッカー」クリニック! 10月4日(金)スタート!

内容 前半は技術指導、後半はゲーム中心の内容です。

対象 女性なら誰でも参加可

料金 1回500円

別途年会費が必要

申込み・問合せ 五日市クラブ(金網) 080-2392-1212



### 森林レンジャーがゆく (38)

#### 防災機能を備える植樹

市では、友好姉妹都市の栗原市との交流事業として、中学生のスポーツを通じた交互訪問を行っています。今年のはあきる野市が栗原市の中学生を受け入れ、7月31日には交流事業の一部を森林レンジャーが行いました。

今回のプログラムは「防災機能を備えた植樹」です。両市の中学生53人が小宮地区寺岡の民地に、地主さんの快諾のもと、ヤマハギの苗15本を植樹しました。

「小宮ふるさと自然体験学校」のある軍道周辺では、その地名の語源と言われる崩れ土「グズド」が「グンドウ」に変化したと言われています。隣接する寺岡の植栽予定地にも東京都が設置した地滑り警報器があります。

日本は多雨で急峻な地形が多いため、江戸時代から多くの土木技術が構築されてきました。特に土留めや砂防工事にはさまざまな在来工法があります。これまでコンクリートと外来牧草種で行われてきた工事も、近年は在来の工法が見直されてきています。

「ヤマハギ」の植栽もその一つで、細根が広がり表土を安定化させ、浸食を防ぐと言われています。このことから土砂崩れの初期的な防災機能があると言えます。また、植栽後の管理が草刈機などを使った刈り込みで済むため、手間がかからないことも大きなメリットと言えます。

この「ヤマハギ」は古くから日本人になじみのある植物でもあり、秋の七草に含まれ、万葉集に141首の歌が詠まれているそうで、8月の終わりからピンクの可愛い花が咲きます。

植栽現場となった地滑り警報機の上端部斜面に50人以上の中学生が一度に集うのは危険なので、植栽班と灌水班の2班に分け、植栽班は苗木の運び上げと植栽をした後、五柱神社の大杉の見学をしました。灌水班は、五柱神社の大杉を見学した後、養沢川まで下りてゴミ袋に水を汲み、運び上げて灌水するという形をとりました。

最後にスコップなどの道具を洗い、体験学校の展示を見学してこの日の私たちのプログラムは終了しました。植栽後の「ヤマハギ」は順調に根付いています。

今年の夏は、日本列島各地で集中豪雨による土砂崩れの被害が多発しました。次世代を担う中学生たちにとって、将来、少しでもこのような被害を軽減するためのヒントになればと思っています。(杉野)

